

# 号外 稲作管理特報

令和6年7月22日  
朝日町  
黒東地域農業技術者協議会

コシヒカリの生育は、平年並に推移しており、田植日が5月12日の場合、**出穂期は8月4日頃**と見込まれます。

**8月～9月の気温は平年より高いと予報されていることから、葉色が薄い(葉色が4.0以下)ほ場では、白未熟粒の発生を防止するため、追加穂肥を施用しましょう。**

水管理については、**幼穂形成期～出穂期までは「飽水管理」**を行い、稲体活力を維持しましょう。また、**出穂から20日間は「湛水管理」**を必ず行いましょう。

## 1. 「コシヒカリ」の追加穂肥 (基肥一発肥料体系のみ)

基肥一発肥料を使用したほ場で、7月28日頃(出穂の7日前)に**葉色が4.0(洪積土の場合3.8)以下の場合**は、追加穂肥を施用しましょう。

施用時期	肥料名及び施用量
7月28日(日) ～8月1日(木)	「追肥3号」など 穂肥用の肥料 5～7kg/10a (N成分：0.75～1.05kg/10a)

※洪積土の地区 入善町：野中、舟見 朝日町：境、笹川、南保、山崎、大家庄

## 2. 今後の水管理

### ○幼穂形成期～出穂までの管理… 飽水管理

常に足跡や溝に水が残るくらいの状態を保ち、根の活力を維持し、葉色を高めていきましょう。ただし、4日以上水が滞っていたら落水してください。



飽水管理

### ○出穂後の管理… 出穂から20日間は湛水管理

田面が出ない程度に湛水状態を保ちましょう。ただし、溜めっぱなしにせず、ほ場内の水を入れ替えましょう。

**※かけ流しは絶対にしないでください。**

JAみな穂営農センター TEL 74-2440 あさひ支店経済課 TEL 83-3212  
新川農林振興センター TEL 52-0094